

事業所名：グループホーム 南十字星

作成日：令和6 年 4 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 地域に根差した施設にするためにも、地域の方々との連携を密に図っていきたい。	地域の方々との関わる機会をもち、気軽に立ち寄り交流することが出来る環境を目指す。	運営推進会議等、地域の方々の積極的な参加に向けた促しの実施。 地域の行事等にご利用者と一緒に積極的に参加し、交流を深めていく。	12 ヶ月
2	28	○チームで作る介護計画とモニタリング ご利用者の全体像をよく把握するとともに、職員間で、ご利用者の情報共有を密に図り、ニーズに寄り添った計画書の作成に取り組む。	適切なアセスメントを実施するためにも、書類整備に努め、ご家族・ご本人の思い、要望などに寄り添った計画書作成を目指す。	アセスメント・フェイスシートのADLの再整備(起き上がり・立位等)を行い、介護計画書に必要事項の連動が適切に出来るようにする。 ヒヤリハット、事故報告書発生時に話し合った原因と対策を明確に記述に残す。また、次に繋げるために、アセスメント、介護計画書に反映させる。 日課計画書等に「留意点」を追記する。 今以上にご家族様とのやり取りを増やし、ニーズに寄り添った計画書作成に取り組んでいく。	12 ヶ月
3	37	○災害対策 職員全体にBCPの周知徹底を行い、火災や地震等、災害への対策に取り組んでいきたい。	日頃より、災害に対し意識を持つことができ、臨機応変な対応ができる様にしておく。	BCPの周知徹底に伴い、日頃からの研修、ミーティング、避難訓練等年2回(夜間想定)を実施し、職員間での連携強化、知識を身に着ける。 引き続き、非常食を常備し、常に災害等に備えておく。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月